

YOKOSHIN NEWS

令和3年3月24日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—2021年1～3月期実績、4～6月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

今期は全ての業種で前期より持ち直し、来期は改善の見込み

- 今期（2021年1～3月期）の全業種総合業況判断DIは、前期比2.9ポイント上昇の-30.7と持ち直した。来期は、今期比4.5ポイント上昇の-26.2と改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比10.9ポイント上昇の-30.7となった。来期は、今期比3.7ポイント上昇の-27.0を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比1.0ポイント低下の-30.7となった。来期は、今期比4.9ポイント上昇の-25.8を見込んでいる。

【特別調査】「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新業態（ニューノーマル）への対応について」

- | | |
|------------------|------------------------------|
| ・今期と例年との売上の比較 | 10%以上 30%未満の減少（39.9%） |
| ・事業継続上の不安、心配、懸念 | 先行き不透明による計画策定困難化（36.4%） |
| ・IT人材の状況 | IT人材の必要性を感じていない（55.2%） |
| ・IT活用の効果 | IT活用には取り組んでいない（62.8%） |
| ・設備投資の意向 | 設備投資の意向はない（63.3%） |
| ・設備投資のスケジュールへの影響 | 当初から予定はなく
設備投資はしない（72.2%） |
| ・今後の事業展開 | 本業の国内取引先深耕（49.9%） |

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）775先 有効回答数：763先
調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和3年3月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒[景気動向調査](#)」をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先 経営企画部：望月、汐見 電話：045-680-6912



横浜信用金庫